

# 河内中学校地域協議会

## 地域コーディネーターと協働実施した「さつまいもの収穫」体験

○地域の方々の協力のもと、体験農園（学校より徒歩5分）において、1学年の生徒を対象にした活動「さつまいもの収穫体験」を実施しています。この活動も今年で10年目となりました。

○なぜ「さつまいも」にしたのかというと、そこには“子どもたちのために”と以下のように考えられた理由があります。

- ・農作物の育ちが実感できるように、ある程度の時間がかかるもの。
- ・比較的管理がしやすいもの。（自分の経験を活かすことができる。）
- ・全員が収穫を体験できるもの。（土の中にあるため、掘って見ないとわからない「ワクワク感」も体験できる。）
- ・作業を通して、自然と友達と協力する場面があるもの。

○さらに、この体験を通して、「食材や生産者へ感謝する心」を育み、「自然を五感で感じる」ことも得ることができます。

○体験中、生徒は、お互いに声をかけあいながら、楽しく笑顔で活動していました。同時に、学年の先生方も共に作業をすることにより、この体験が学年全体における良好なコミュニケーションづくりの有効な手段にもなっていました。

○収穫したさつまいもは、近隣の小学校にも配り「すこやか河内学校園統一献立」として、給食でいただくそうです。ちなみに、今回のメニューは、学校園の子どもたちから募集し、「大学芋」、「さつまいもとチキンのココナッツカレー」、「スイートポテトtoast」に決まりました。子どもたちに“共食”の場面を提供できる素晴らしい活動です。（※共食とは、「一緒に食べる」ことだけでなく、「おいしかったね」などと話し合うことも含まれます。）



作業の仕方を確認し体験開始



集中して取り組む生徒達

（掘残しは、ほとんどありません）



今年もたくさん収穫できました

（写真は収穫のほんの一部です）

### 【学校の声】

何よりも、年3回の魅力ある学校づくり地域協議会において、学校に対する貴重なご意見をいただくことが学校にとっては大きな財産となっています。

また、地域コーディネーターの方々には、中学1年生の食農体験の指導を始め、夏のクリーン活動への協力、グリーンカーテン作りなどの中心になっていただき、学校にとって無くてはならない存在であり、感謝の気持ちでいっぱいです。

### 【地域協議会の声】

この活動のやりがいとしては、さつまいもの収穫を笑顔で、そして夢中に取り組む子どもたちの姿を見るたびに、「やってよかった」と感じられることです。また、体験を伴う活動は、自然と友達同士の輪が生まれる良い機会であると感じています。これからも、学校の要望があれば、できる範囲で協力していきたいと思っています。

### 【いいね！】

○ 収穫したさつまいもの一部は、家庭に持ち帰ることができる。この体験は、多くの保護者が一度は経験したことがある体験であるため、生徒が帰宅後、「今日の体験」が親子共に共感できる「今日の話」となり、親子のコミュニケーションにも活用できる好事例である。

